

令和元年度

地方運輸局選考採用試験（社会人経験者・一般職（技術系）相当・係長級） 受験案内

1. 職務内容及び待遇

- 国家公務員一般職（技術系）試験に合格した者相当として採用し、国土交通省の所管行政に関し主に技術的な知識を活用して従事する係長相当職員として任用します。
- 給与（各種手当等）は「一般職の職員の給与に関する法律」に基づき、各人のこれまでの経歴に即して支給されます。手当としては、地域手当、扶養手当、期末手当・勤勉手当等があります。
- 勤務時間は1日7時間45分、原則として土・日曜日及び祝日等の休日は休みです。
- 休暇には、年20日の年次休暇（4月1日採用の場合、採用の年は15日。残日数は20日を限度として翌年に繰越し）のほか、病気休暇、特別休暇（夏季、結婚、出産、忌引き、ボランティア等）、介護休暇等があります。
- ワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭生活の両立）支援制度として、育児休暇制度等があります。

2. 求める人材

- ① 公務に対する強い関心と、全体の奉仕者として働く熱意を有する者
- ② 高等学校、高等専門学校、専修学校、短期大学、大学又は大学院等において、電気電子情報、機械、土木、建築、材料工学、物理、化学、農学又は農業農村工学に関する課程を修めて卒業又は修了した者
- ③ 課題を解決できる論理的な思考力、判断力及び表現力を有する者
- ④ 職務経験を通じて体得した効率的かつ機動的な業務遂行の手法その他の知識及び能力を有する者
- ⑤ 採用後の研修又は職務経験を通じてその知識及び能力の向上が見込まれる資質を有する者
- ⑥ 地方運輸局における以下のいずれかの業務に関する職務遂行能力を有し即戦力となる人材
 - ・【自動車関係】自動車検査証の交付、自動車整備工場の認証・指定、保安監査、道路運送事業者の安全監査
 - ・【鉄道関係】鉄道施設・車両の審査・検査、鉄道事故に関する調査支援・指導、運行計画の届出、動力車操縦者運転免許に関する業務、鉄道事業者に対する立入検査

⑦ 次のいずれかに該当する者

- ・ 自動車の設計、製作、検査、整備に関する知識を有する者
- ・ 鉄道施設及び車両の設計、施工、製造、維持管理並びに鉄道輸送の安全確保等に関する知識を有する者
- ・ 電気・電子機器の設計、製作に関する知識を有する者
- ・ 情報システムの開発・管理等に関する知識を有する者
- ・ ヒューマン・マシン・インターフェースの設計、製作に関する知識を有する者

3. 応募資格

○下記ア及びイの要件について、いずれも満たす者

ア. 平成31年4月1日において、次の①から⑩のいずれかに該当する日（二以上あるときは、当該日のうち最も古い日）から起算して11年を経過した者で、学校教育法（昭和22年法律第26号）に基づく短期大学、高等専門学校、高等学校の専攻科の課程（同法第58条の2の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）若しくは専修学校の専門課程（同法第132条の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）、大学（短期大学を除き、同法第104条第7項第2号の規定により大学に相当する教育を行うものとして認められた課程を置く教育施設を含む。）若しくはこれに相当する外国の大学（これに準ずる教育施設を含む。）、大学院の課程（同号の規定により大学院の課程に相当する教育を行うものとして認められたものを含む。）若しくはこれに相当する外国の大学（これに準ずる教育施設を含む。）の課程又は①、④、⑤、⑦、⑨若しくは⑩に規定する学校若しくは課程に在学して電気電子情報、機械、土木、建築、材料工学、物理、化学、農学又は農業農村工学に関する課程を修めて卒業又は修了した者

- ① 学校教育法に基づく高等学校又は中等教育学校を卒業した日
- ② 学校教育法に基づく高等専門学校の第3学年の課程を修了した日
- ③ 学校教育法第90条第2項の規定に基づき大学に入学した日
- ④ 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第2号の規定に基づき文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した日
- ⑤ 学校教育法に基づく専修学校の高等課程のうち、学校教育法施行規則第150条第3号の規定に基づき文部科学大臣が指定した課程を修了した日（同号の規定に基づき文部科学大臣が定める日以後に修了した場合に限る。）
- ⑥ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）に規定する高等学校卒業程度認定試験の合格者となった日
- ⑦ 外国において学校教育における12年の課程を修了した日
- ⑧ 昭和23年文部省令告示第47号第20号から第23号までに規定する資格を取得し

た日

- ⑨ 昭和 23 年文部省告示第 47 号第 24 号に規定する教育施設又はこれに準ずるものに置かれる 12 年の課程を修了した日
- ⑩ 昭和 56 年文部省告示第 153 号第 1 号に規定する検定に合格した日又は同告示第 2 号から第 5 号までに規定する課程を修了した日

イ. 高等学校を卒業後、民間企業、官公庁、国際機関等において、正社員・正職員として従事した職務経験が平成 31 年 4 月 1 日現在で通算 11 年（高等専門学校、専修学校又は短期大学を卒業した者にあつては 9 年、大学卒業又は大学院を修了した者若しくは専修学校の専門課程を修了し高度専門士の称号が付与された者にあつては 7 年）以上となる者

※ 応募資格を満たしているかどうかを確認するため、最終合格者の方には、国土交通省が指定する日までに勤務証明書等を提出していただきます。勤務証明書等が提出できない期間は、職務経験に通算されませんので、ご注意ください。また、勤務証明書等を提出できない場合又は虚偽の記載がなされている勤務証明書等があった場合には、採用予定が取り消される場合があります。

○ 以下に該当する方は応募できませんのでご了承ください。

- ① 日本の国籍を有しない者
- ② 国家公務員法第 38 条の規定により国家公務員となることができない者
 - ・ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでの者又はその刑の執行猶予の期間中の者その他その執行を受けることがなくなるまでの者
 - ・ 一般職の国家公務員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から 2 年を経過しない者
 - ・ 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

4. 採用職種及び採用予定数

(1) 自動車関係

下表のとおり採用を予定（九州運輸局では試験の実施はございません）。

北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国
2	3	8	1	3	3	1	2

(2) 鉄道関係

関東運輸局及び九州運輸局において、それぞれ 1 名の採用を予定。

5. 勤務地

各地方運輸局本局又は管内の運輸支局

6. 採用予定時期

令和2年4月1日（採用予定日は採用者の事情に配慮しますので、ご相談ください。）

7. 選考日程

受付期間	7月16日（火）～8月30日（金）18：00（受信有効）
第1次選考合格発表	9月10日（火）正午 ※応募された方全員に、結果をメールで通知します。
第2次選考	9月17日（火）
第2次選考合格発表	9月27日（金）正午
第3次選考	10月7日（月）又は10月8日（火）で指定する1日
最終合格発表	10月18日（金）（予定）

8. 選考方法

第1次選考	書類選考（経歴評定） 作文試験 （職務経験等に関する作文により、国土交通省所管行政に関する政策の企画等に必要な能力等を有しているかどうかを判断する試験）
第2次選考 注	【自動車関係】 高卒程度基礎能力試験（多肢選択式） 専門試験 ・必須試験：数学・物理・情報（多肢選択式） ・自動車に係る試験：機械工作、機械設計、原動機、生産システム技術、自動車技術（多肢選択式） 【鉄道関係】 高卒程度基礎能力試験（多肢選択式） 専門試験 ・必須試験：数学・物理・情報（多肢選択式） ・鉄道に係る試験：鉄道技術（論文試験）
第3次選考	面接試験（人柄、対人能力等についての試験）

注：職種に応じ自動車に係る試験又は鉄道に係る試験のいずれかを選択し受験。

※試験実施場所は採用を希望する各地方運輸局会議室となります（住所は10. 参照）。
第2次選考については、採用希望地と異なる地方で受験することも可能ですので、ご希望がありましたらその旨を応募時にご連絡ください。

9. 応募方法

メールにより下記必要書類を、採用を希望する運輸局宛に送付してください。メール以外の方法による応募（郵送等）は受け付けません。

【必要書類】

- ・ 履歴書（別紙様式1）
- ・ 職務経歴書（別紙様式2）
- ・ 作文（別紙様式3）

※ 別紙「作文作成要領」を熟読の上作成してください。

【受付期間】7月16日（火）～8月30日（金）18時（受信有効）

10. 応募書類の送付先及び問い合わせ先

○北海道運輸局総務部人事課（北海道）

住所：北海道札幌市中央区大通西10丁目 札幌第2合同庁舎

電話：011-290-2712

メール：hkt-saiyou@gxb.mlit.go.jp

採用に関する情報：<http://wwwtb.mlit.go.jp/hokkaido/kakusyu/saiyou/index.html>

○東北運輸局総務部人事課（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）

住所：宮城県仙台市宮城野区鉄砲町1番地 仙台第4合同庁舎

電話：022-791-7505

メール：tht-touhoku-jinji@mlit.go.jp

採用に関する情報：http://wwwtb.mlit.go.jp/tohoku/unyu_jinji/index.html

○関東運輸局総務部人事課（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県）

住所：神奈川県横浜市中区北仲通5-57 横浜第2合同庁舎

電話：045-211-7206

メール：ktt-jinji@mlit.go.jp

採用に関する情報：<http://wwwtb.mlit.go.jp/kanto/soumu/jinji/index.html>

○北陸信越運輸局総務部人事課（新潟県、富山県、石川県、長野県）

住所：新潟県新潟市中央区美咲町1丁目2-1 新潟美咲合同庁舎2号館

電話：025-285-9100

メール：hrt-jinji-saiyou@gxb.mlit.go.jp

採用に関する情報：<http://www.tb.mlit.go.jp/hokushin/recruit.html>

○中部運輸局自動車技術安全部技術課（福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）

住所：愛知県名古屋市中区三の丸2-2-1 名古屋合同庁舎第1号館

電話：052-952-8043

メール：cbt-gijutsu01saiyo@mlit.go.jp

採用に関する情報：<http://www.tb.mlit.go.jp/chubu/recruit/index.html>

○近畿運輸局自動車技術安全部技術課（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）

住所：大阪府大阪市中央区大手前4丁目1番76号 大阪合同庁舎第4号館

電話：06-6949-6452

メール：kkt-saiyou.jidousyagijutu@gxb.mlit.go.jp

採用に関する情報：<http://www.tb.mlit.go.jp/kinki/info/somu/recruit.html>

○中国運輸局総務部人事課（鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県）

住所：広島県広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎4号館

電話：082-228-3542

メール：cgt-saiyo@gxb.mlit.go.jp

採用に関する情報：<http://www.tb.mlit.go.jp/chugoku/soumu/guide.html>

○四国運輸局総務部人事課（徳島県、香川県、愛媛県、高知県）

住所：香川県高松市サンポート3番33号 高松サンポート合同庁舎南館

電話：087-802-6716

メール：skt-shikoku_mbe_sd@mlit.go.jp

採用に関する情報：<http://www.tb.mlit.go.jp/shikoku/annai/saiyou.html>

○九州運輸局総務部人事課（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県）

住所：福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目11-1 福岡合同庁舎新館

電話：092-472-2313

メール：qst-saiyo@gxb.mlit.go.jp

採用に関する情報：<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/saiyou/body.htm>

職務経歴書

令和元年7月1日現在

氏名：〇〇 〇〇

※これまでの職務経歴について、期間、業務内容（担当業務の詳細、実績等）やポジション（職位や部下の数等）を御記載ください（様式自由）。

令和元年度

地方運輸局選考採用試験（社会人経験者・一般職（技術系）相当・係長級）
作文作成要領

1. 課題

自動車又は鉄道は、これからの社会においてどのような役割を果たすべきと考えるか。

それに対応するため、あなたがこれまで得た経験や知見をどのように活かすことができるか、これまでの業務で得た専門知識にも触れながら論じてください。

(2,000字程度)。

2. 作成にあたっての注意事項等

(1) 作文は、別紙様式3を用いて作成してください。

(2) 様式3は、40文字、30行、MS明朝、11ポイントで設定されています。これらの設定は変更しないようにしてください。ただし、見出し、強調、外国語表記のために、フォントを一部変更（太字、下線、他のフォント等）しても差し支えありません。

(3) 記述は2ページ以内に収めてください。3ページ目以降の内容については、2,000字以内の部分であっても、評定の対象となりませんので、注意してください。

(4) ファイル名を「氏名.docx」とし、8月30日（金）18時までに送信してください。なお、締切日時に遅れた答案については一切受理しません。

（例）氏名が「国交太郎」の場合は、「国交太郎.docx」

(5) 提出された作文等を、この採用試験以外の目的に使用することはありません。

作文

氏名：●● ●●

[書き始め]